

YA21525

年度	配当	区分	科目名	担当教員	回数	単位
2021	後期	発展	監査手続論	嶋矢剛	15	2

授業の目的

金融商品取引法に基づく監査の目的を理解し、監査の各段階で実施する監査手続の設計及び実施ができる能力を養うことを目的とする。そのために調書例を活用しながら時系列を追うように解説する。したがって本講義においては論理的に考え、論理的に表現することが求められるが（LEC 会計大学院の教育目標【2】参照）、そのようなプロセスを経て、公認会計士という職業のみならず、財務数値を扱う職業的会計人に必要な職業的懐疑心および監査能力を習得することを目指す。

授業の到達目標

実務における一連の監査手続を学び、個々の作業目的に対し選択適用する監査手続を組み立てることができるようになることを到達目標とする。

履修条件

「監査論」の既履修もしくは同程度の理解を前提とする。

授業計画

回	授業内容	日程
1	財務諸表監査の全体像 監査の目的・使命（監査役監査との対比）、監査を行う目的（監査契約、会社法に基づく監査報告書、金融商品取引法に基づく監査報告書）、公認会計士監査の全体像について学習する。	10月4日(月) ⑤19:30-21:00
2	リスクアプローチ 現代の財務諸表監査では、すべての項目に対して総括的に監査を行うのではなく、リスクアプローチと呼ばれる方法論に基づいている。その考え方や、それを展開した監査調書の体系について学習する。	10月11日(月) ⑤19:30-21:00
3	監査契約、監査の基本的な方針の策定① 監査人の監査契約を新規に締結したり更新することは監査業務の品質管理の出発点として重要である。その留意点を学習する。そして会計監査を遂行していく上での羅針盤となる「重要性の基準値」について学習する。	10月18日(月) ⑤19:30-21:00
4	監査の基本的な方針の策定②／財務諸表監査全体レベルのリスク評価 「重要性の基準値」の考え方を連結財務諸表監査上で展開する「グループ監査」と、監査対象に対する理解を踏まえて実施する「財務諸表監査全体レベルでのリスク評価」について学習する。	10月25日(月) ⑤19:30-21:00
5	アサーションレベルのリスク評価① アサーションレベルのリスク評価では、まず監査計画時に財務諸表の科目ごとに結合リスクの水準を評価する。リスクアプローチを具体的に適用する局面であり、その考え方について学習する。	11月1日(月) ⑤19:30-21:00
6	アサーションレベルのリスク評価② 引き続き、アサーションレベルのリスク評価を扱う。評価した結合リスクの水準に応じ、科目ごとに実証手続の概括的・暫定的な設計を行い、これによって必要とされるリスク対応手続の質と量が定まることになる。その考え方について学習する。	11月8日(月) ⑤19:30-21:00
7	業務プロセスに係る内部統制評価① 科目ごとに認識する業務プロセスには、財務報告リスクを低減するためのコントロールが整備され運用されている。それをどのように選定し、評価し、文書化するのかについて学習する。	11月15日(月) ⑤19:30-21:00
8	業務プロセスに係る内部統制評価② 引き続き、業務プロセスに係る内部統制評価を扱う。業務プロセスに係る内部統制は、手作業統制／IT 統制／IT 手作業統制の3つに分類されるが、実務上、その切り分けや整備状況／運用状況の評価についてバラつきがみられる分野でもある。その各々の意義と評価方法について学習する。	11月22日(月) ⑤19:30-21:00

9	ITに係る内部統制評価 上場会社等では業務に占める IT の役割は大きく、財務諸表監査では、IT に係る業務処理統制及び IT 全般統制に係る内部統制の 2 面から評価する。ここではその手法について学習する。	11月29日(月) ⑤19:30-21:00
10	実証手続 1 「アサーションレベルのリスク評価」において結合リスク評価に応じた実証手続の概括的設 計からさらに必要な詳細な手続を導く。この回では主要な監査手続である実査・確認・立会 等について学習する。	12月6日(月) ⑤19:30-21:00
11	実証手続 2 「アサーションレベルのリスク評価」において結合リスク評価に応じた実証手続の概括的設 計からさらに必要な詳細な手続を導く。この回では資産科目（売掛金、棚卸資産、固定資産、 等）に係る監査手続について学習する。	12月13日(月) ⑤19:30-21:00
12	実証手続 3 「アサーションレベルのリスク評価」において結合リスク評価に応じた実証手続の概括的設 計からさらに必要な詳細な手続を導く。この回では負債／資本（借入金、引当金、純資産、 等）に係る監査手続について学習する。	12月20日(月) ⑤19:30-21:00
13	実証手続 4 「アサーションレベルのリスク評価」において結合リスク評価に応じた実証手続の概括的設 計からさらに必要な詳細な手続を導く。この回では損益科目、連結財務諸表に係る監査手続 について学習する。	1月10日(月) ⑤19:30-21:00
14	監査意見の形成 監査意見は監査人にとっての最終的な結論であり、その結論を導くに至る過程を学習する。 併せて「経営者による内部統制の無効化に関係したリスク対応手続」等についても学習する。	1月17日(月) ⑤19:30-21:00
15	監査手続の全体像 これまで個々に見てきた手続を全体を通してつなげてみて、監査業務が全体として整合・統 合させていることを学習する。また、これまでの回での説明の補足やトピックなどにも触れ る予定である。	1月24日(月) ⑤19:30-21:00
試 験	レポート	

使用教科書／評価方法等

教科書	講義において配布する資料
参考書	『財務諸表監査の実務<第3版>(平成30年度版/2018)』(中央経済社)
評価方法	期末レポート60%、出席を含む授業への貢献度など40%
その他	授業内での発言は正誤によって評価はしない。頭で考えた思考プロセス、授業に対する参加姿勢と理 解しようとする姿勢を評価の対象とする。